臺灣日日新報 第一万四千九百四十號 (一)
昭和十六年十月十一日 (土曜日)

臺灣新報

夕刊 十月十日
臺灣日日新報社

商標 菊王冠之王

奬勵金二千餘萬圓
麥類六百萬石增産
緊急食糧對策の具體的施設方針
閣議で正式決定

【東京發同盟】去る二千六百の廠業に於いて大體の決定を見た緊急食糧對策の具體的施設方針は十日の閣議に於いて正式決定を見たが、これは今秋を期し昭和十四年産麥類六百萬石の増産に備へ、米、麥、粟、蕎麥、豆類、馬鈴薯、甘藷、陸稻、雜穀等の作付面積を十万町歩増加し、これに依り約六百万石の増産を期すると共に、之が爲に要する勞力二百四十万人、肥料一百二十万瓲、農具一千万個を確保せんとするものである

第一 米穀等主要食糧需給對策

一、増産對策に關しては昭和十七米穀年度に關するものとして
(イ)麥の増産については既定計畫に依る休閑地の利用對策作に依る増加面積十二万六千二百町歩その増産對策は陸稻の反當り收量増加に依るもの六千四百七十石の外、今回新たに麥類の增産對策として、麥粟蕎麥等不急作物の作付轉換に依り作付面積十万四千百十八町歩、生産量三千二万石の増加を見込み合計六百万石餘の増産を期す
(ロ)馬鈴薯の増産については澱粉、アルコール原料、菓子、蒸溜等の需要増加に依り馬鈴薯三千三百萬貫を生産の増加を計り第二千四十五萬貫の生産の増加を期す

一、米穀等の需給調整については
(イ)米穀の需給調整については從來の方針に依り供出の確保と消費の節約とを強調し、特に消費節約については、一般消費者に對する切符制の實施、外食券食堂の利用、學校、會社、工場等團體給食の普及、家庭に於ける節米の徹底を期する
(ロ)米穀の配給については、從來の方針に依り、外地米の移入を確保し、内地米の配給を圓滑ならしめ、外地米

湛子女王殿下と大給伯正式御婚約

けふ納采の儀御擧行

【東京發同盟】明治天皇二三女湛子女王殿下と旧松平信正伯大給恒伯との御婚約を正式に取結ばれる納采の儀は十月十日即ち十一時より宮

譽れの遺家族の美事善行者を顯彰

軍人援護會臺湾本部で　資格者を銓衡

今次事變に際し軍人援護會臺湾本部では軍人軍屬の遺家族にして家業その他の事情に依り生活に困窮せる者に對し援護金を贈與することとなつたが、その資格を審査し、且つ善行者を顯彰するため、去る十日午後一時から臺湾神社境内の臺湾神社社務所に於て第一回の審査會を開催した

審査會は委員長たる本部長戸水總務部長、委員たる本部理事、評議員、參與、幹事、各支部長、各州廳厚生課長、臺北市役所厚生課長、臺北州警察部特高課長、臺北州警察部保安課長、臺北州警察部衛生課長、臺北州警察部經濟課長、臺北州警察部勞務課長、臺北州警察部司法課長、臺北州警察部教育課長、臺北州警察部交通課長、臺北州警察部警務課長、臺北州警察部庶務課長、臺北州警察部保險

(第三種郵便物認可)　昭和十六年十月十一日　(土曜日)　臺灣日日新報　第一万四千九百四十號　(二)

南方策源地

好條件に惠まれて進出
商業界の第一線に

盤谷にて　若林特派員

泰に働く本島人 (上)

七年前から進出
概勢

泰國に於けるタイ國籍の許可證は絶えず與へられたるものあり、これが打開はわが朝野の關心の的となつた。かくて

本島人こそは 泰の發展を期する最適者

と信ずるに至つた。即ち三井物産が泰國の第一線に於て活躍しつゝある事實、三井物産の泰國に於ける活動は泰國の發展と共に躍進しつゝあるものであつて、本島人のタイ國進出は泰國發展の線に沿ふものであるとの觀點に基くものであつた。

先驅は茶業者

先づ茶業に進出したもの、それは泰國の特産である茶の販賣組織に着目したものであつた。

泰國に於ける茶業は三十年以上の歴史をもち、現在タイ國側の茶業者の如きは三十年以上の歴史においても同行の茶を見るとの地盤を確保してゐる。ついで醸造、茶行、倉庫業者の如きより

商業輕視の安南人 (上)

子弟を官吏にするのが理想

佛印の民族人口二千三百五十萬の九十七%までは民族であるといはれるが、土民と云つても二千年の昔から驚くべき南進をなし、指もつて數ふることへ出來ない歴史に亘るまで、多彩多樣の九種族に分類されよう。

安南族（通稱アンナン人）

アンナン人は佛印を代表する土着民で、總人口の七二%を占め、安南シナン、アンナンの二地方から北部地方及び南部地方に分布されてゐる。其の起源は南方支那族であるといはれ、支那文化の影響を多分に受けてゐるが、

成層圏 (89)

廣津和郎作

大貫松三畫

日食と身邊動物記 【2】

宮本佐市

鶏はフクロー其他の夜行鳥と異り夕暗から急に眠が見えなくなつてしまうのである。所謂鳥目後性とは或る人間の肉眼があるので夜盲症の眼が見えないと云ふのは大抵の人は御存知の筈である。夜は人間と鶏が夜するが鶏でもない只暗さがあるので夜盲症の眼が見えないと云ふのは大抵の人は御存知の筈である。夜は人間と鶏が夜するが鶏でもない只暗さがあるので夜盲症の眼が見えないと云ふのは大抵の人は御存知の筈である。

南洲の書翰

瀬戸由兼斌

司法保護事業を語る (三)

改心者に溫い保護の手を

堀田行刑課長　保護と云ふものが、檢察官と云ふものがはたらいたになつて居ります、檢察官

臺灣新民報
日本唯一の漢文夕刊紙
（第二版）（朝治第一千五百四十九號 昭和十六年九月九日第三種郵便物認可）
昭和十六年十月十一日（土曜日）
臺灣日日新報

物心共に重慶痛撃
皇軍は今後隨時進攻
長沙作戰＝支那派遣軍當局談

【南京十日發同盟】支那派遣軍は今次長沙作戰を終始九日午前零時を以て終了したので十日午前その戰果並びに戰闘の經過を發表したが、今次の作戰は重慶側に與へた物心兩方面よりする打擊を指摘して戰略戰力破摧に全く目的を達成せるに至つたとの不動の確信を明かにした

支那派遣軍當局談

長沙作戰は前後七日の大戰果を收めて去る九日午前零時を以て終了するに至つたが今次作戰に於いて我が作戰部隊が初めて重慶攻略の第一歩として企圖したる重慶攻略の第一段階たる長沙攻略に當つては、我が作戰部隊は常に敵の意圖を看破して之を撃摧したのであつた、之を要するに重慶は今や其の戰爭指導の中樞たる機能を全く喪失するに至つたことを確信するものである、今次作戰の經過を概觀するに、

一、重慶政權は從來英米の援助並びに陸上の我が積極的壓迫と海軍自慢し對日統戰、抗日防勢に關する自信を喪失し

二、雜軍の中央統制に對する信賴感及び對日抵抗意志は大に低下し

三、過去に於ける數回の攻防戰に於ける敵軍の損害は實に莫大なるに拘らず敵は毫も之に屈せず

四、我軍第三國は重慶抗戰力の實相を認識しての徹底的壓力の實施を要望しつゝあるが我方として當時の如く今次作戰の如きも必要に迫られた場合は何時にても發動し得る態勢を整へつゝあるに過ぎない

笑止千萬の反抗呼號

長江下流二年間の綜合戰果

敵損害卅萬以上

重慶の嚴命に蠢動

敵第五戰區軍潰滅

皇軍二週間に大戰果

【南京十日發同盟】長沙作戰は一昨年末以來重慶側が數次に亘り我が占領地區に反抗を繰返してゐるを、然しながら最重要戰略據點の攻略を企圖する我が皇軍に對し重慶側は其の反抗を封ずる爲出でゝ決戰を挑むの勇氣なく、逃げ足の速さを發揮して奥地へ奥地へと逃げ込んだ爲、皇軍は敵の反抗を待つ事なく、十月一日午前零時を以て作戰を終了したのであるが、今次作戰の戰果は實に莫大なるものがあつた

【南京十日發同盟】長沙攻略作戰は、九月十四日以來我が南部正面に於ける敵の主力に對し、之を撃滅すべく、陸海空軍の緊密なる協同の下に、敵の退路を遮斷しつゝ、敵の中樞たる長沙を目指して、急速果敢なる追撃を續行したが、敵は我が意圖を看破するや、我が追撃部隊の前面に對し、逐次兵力を增加して、我が追撃部隊の側背を脅威し、或は我が追撃部隊の間隙を縫ひ、我が後方連絡線を遮斷する等、執拗なる抵抗を繰返したが、我が追撃部隊は、之等敵の企圖を破摧

社說

皇民奉公運動　半歲の足跡　本來的純粹なるものを堅持す

一

昨日を以て皇民奉公会は、内地に於ける大政翼賛運動の一環として結成せられ半歳を経過したのである。この間に於ける皇民奉公運動の進展は、翼賛運動の本質に徹底的検討を加へ、翼賛精神の昂揚に努めると共に、翼賛運動の組織化を図り、翼賛運動の実践的推進力たるべき国民組織の確立に邁進して来たのであるが、

皇太子さま御出場
學習院初等科で運動會

【東京發同盟】學習院初等科では秋晴れの十日恒例の運動會を行つた此、皇太子殿下にも參加の御希望あつたので初の御出場が許された

上京遺族への心構
憩ひの家は笑顔の接待

【東京發同盟】靖國神社秋の臨時大祭の際上京される遺族の應召軍人に對する取扱ひについては陸軍省に於ては例年通り大體の方針を定めてゐるが今回は特に左の點に留意して萬遺憾なきを期することゝなつた

一、遺族は國民たるを擧りに生きる皆國民精神の泉を湛へ

二、肉親の英靈を擁つて感激

一氣に井粁を征服
長谷川總督大甲溪上流へ

【臺中電話】總督は九日午後の列車にて新高口に向ひ同地より徒歩にて大甲溪上流の探察に赴いた

新嘗祭供御新穀
奉耕者捧持して內地へ

【東京發同盟】新嘗祭供御の新穀は例年通り神嘉殿前庭に於て行はれる新穀供進の儀に先立ち十月上旬各地の篤農家より選ばれた奉耕者が新穀を捧持して內地へ向ふ

訓防て國全らかすあ
起振に衛防土國
に務任てつ擧も女も男

僕達の胸は奉公精神
桔梗クラブで第二次訓練

本島青少年團の訓練の目標として皇民奉公會青年部の絶大なる支援の下に結成を見たる各地の青年團クラブは既に第一回訓練を終り大なる效果を收めたことは既報の如くであるが、第二回訓練として昨日より二日間に亘り台北州下に於ては日本各地に於ける

各地終合版

軍國「遺兒の家」健在
臺灣本部から見舞金
梁井文教局長・慶子さん一家を引見

【高雄特電】高雄州下出身の軍人遺家族に對し臺灣軍人援護會本部から見舞金が贈られることになつたので、梁井文教局長は十日午前九時から同局長室で十五名の遺家族を引見した

高雄州弓道の巻

【高雄特電】高雄州出身軍人遺家族に對する見舞金贈呈式は十日午前九時から同局長室で十五名の遺家族を引見して行はれた

梁井文教局長は先づ一同に着席を命じ、「今日は皆さんを特に御招きしたのは外でもない、皆さんの愛する御主人や御子息が國家の爲に尊い生命を捧げられたことに對し、臺灣軍人援護會本部から見舞金を贈ることになつたので、その贈呈式を行ふ爲である、皆さんの悲しみは實に察するに餘りあるものがあるが、どうか國家の爲に尊い犧牲になつたのだと思つて、悲しみを堪へ忍んで下さい、皆さんの中には未だ小さいお子さんを抱へて居られる方もあるが、お子さんは決して父親が居ないからといつて、ひがんだり僻んだりしてはいけない、父親は國家の爲に尊い生命を捧げたのだから、お子さんは決して父親を恨んではいけない、お子さんが大きくなつたら、お父さんは國家の爲に尊い生命を捧げられたのだと、よく話して聞かせてやつて下さい、又お子さんが大きくなつて、しつかり面倒を見て貰ひたいと思ふ、お子さんは決して父親が居ないからといつて、ひがんだり僻んだりしてはいけない、皆さんは一層元氣を出して、しつかりやつて行つて下さい、又皆さんの中には、お子さんが澤山ある人があるが、兄弟仲よく助け合つて立派な人間になつて貰ひたい、